

# 公立高校の入試(全日制)が新しくなります！

平成 29 年度入試から、愛知県の公立高等学校（全日制課程）の入試制度が新しくなります。

推薦選抜と一般選抜が同じ日程（3月上中旬）で実施されますが、一般選抜に2校まで出願できることは、これまでと同じです。

以下、新しい制度の概要を紹介します。

## I 通学区域(学区)と群・グループ分け

### 普通科 (p.6【表1】参照)

普通科は、尾張・三河の2学区とします。入学志願者は、自分の居住する学区内の高等学校を受検することができます。

尾張学区では、学区内の全ての高等学校を第1群と第2群の二つの群に分けます。ただし、学区内の第1群、第2群のいずれの高等学校とも組み合わせることができる1・2群共通校があります。三河学区では、学区内の全ての高等学校を一つの群にまとめて三河群とします。

また、尾張学区、三河学区ともに、群をさらにA・Bの二つのグループに分けます。

なお、いわゆる調整区域（尾張学区と三河学区の境界にある市町）に居住する人が普通科へ出願する場合は、居住する学区内の高等学校に加えて、学区外でも出願可能な高等学校を定めています。（p.6【表2】参照）

### 専門学科・総合学科 (p.7【表3】参照)

専門学科・総合学科は、全県1学区とします。入学志願者は、自分の居住地にかかわらず、県内の全ての高等学校を受検することができます。

また、県内の全ての高等学校をA・Bの二つのグループに分けます。

## II 出 願 (出願から合格者発表までの流れは、p.5を参照)

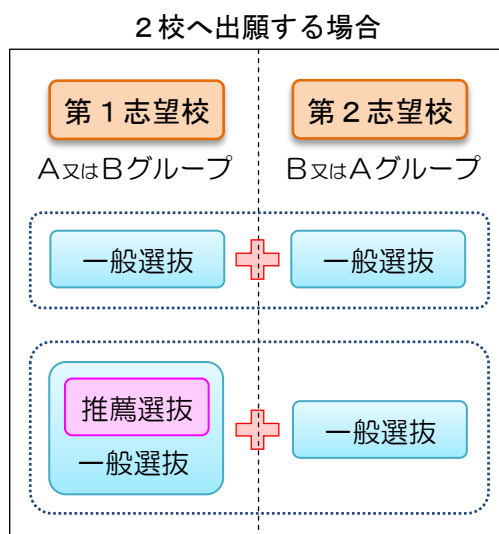
### 一般選抜

A・Bグループのいずれか一方、又は、双方の高等学校へ出願することができます。ただし、2校へ出願する場合は、第1志望校と第2志望校をあらかじめ決めて出願し、普通科2校へ出願する場合は、同一群内の2校の組み合わせに限り、また、普通科の1・2群共通校へ出願する場合は、第1群、第2群をあらかじめ決めて入学願書を提出します。

### 推薦選抜

推薦選抜に出願することができるのは、志願先の高等学校の一般選抜に第1志望として出願する人のうち、中学校卒業見込みで、志願先の高等学校が示す条件を満たし、中学校長の推薦を得た人です。また、推薦選抜は、一般選抜の日程の中で実施します。

なお、推薦選抜に出願した人も、一般選抜において第2志望校へ出願することができます。



普通科は同一群内の組み合わせに限る

推薦選抜の定員枠は、次のとおりです。

(1) 普通科

当該高等学校・学科の募集人員の10%程度から15%程度

(2) 専門学科・総合学科

当該高等学校・学科の募集人員の30%程度から45%程度

ただし、いわゆる「恵まれない環境」の基準による定員枠は、全校・全学科において募集人員のおおむね5%とし、上記の定員枠にそれぞれ含みます。

### 志願変更

志願変更は、一般選抜の第1志望校・第2志望校のいずれか1校1学科に限り行うことができます。(普通科間の志願変更は、同一群内に限ります。)

また、志願変更を行う場合は、志望順位の変更を認めます。ただし、志望順位のみの変更はできません。

なお、第1志望校の推薦選抜に出願した場合は、第1志望の高等学校又は学科を変更することや、志望順位を変更することはできません。ただし、一般選抜において第2志望校へ出願している場合は、第2志望の高等学校又は学科を変更することができます。

## III 入学検査

全校・全学科において、入学志願者全員に対し、学力検査と面接を行います。推薦選抜に出願した人も、学力検査を受検します。また、一部の学科では、特別検査(実技試験)を行います。

### 学力検査

出題教科は、国語、数学、社会、理科、外国語(英語)の5教科です。ただし、外国語(英語)は、聞き取り検査を含みます。検査時間と配点は、右の表のとおりです。

思考力、判断力、表現力などをこれまで以上に測ることができる学力検査とするため、検査時間をこれまでより5分延長して45分とし、各教科の配点も2点増やして22点満点とします。したがって、5教科の合計得点の最高は110点となります。

学力検査の検査時間と配点

教科	検査時間	配点
国語	45分	22点
数学	45分	22点
社会	45分	22点
理科	45分	22点
外国語(英語)	聞き取り	10分程度
	筆記	40分

### 面接

推薦選抜の受検者と一般選抜の受検者は、別に面接を行います。ただし、推薦選抜の面接は、一般選抜の面接を兼ねます。また、推薦選抜の面接では、自己の特性などを1分間程度で答えさせる質問などをします。

### 特別検査

デザイン科、クリエイティブデザイン科、スポーツ科学科、音楽科、美術科では、特別検査(実技試験)を行います。

なお、国際英語科と国際教養科の推薦選抜では、特別検査(英語による問答)を行うことがあります。



**質問** 推薦選抜に出願した人も、学力検査を受検しなければならないのはなぜですか？

**答え** 推薦選抜で合格とならなかった場合は、一般選抜の対象となります。その際に、学力検査の成績を資料として用いることになるため、学力検査を受検する必要があります。

## IV 合格者の決定

各高等学校は、まず、推薦選抜における合格者を決定します。その後、推薦選抜において合格とならなかった受検者を含めて、一般選抜における合格者を決定します。

### 推薦選抜

各高等学校は、中学校長から提出された推薦書、調査書等の書類の内容、面接等の結果を資料として、推薦選抜における合格者を決定します。推薦選抜では、学力検査の成績は資料として用いませぬ。

### 一般選抜

各高等学校は、中学校長から提出された調査書等の書類の内容、学力検査の成績、面接等の結果を資料として、推薦選抜において合格とならなかった受検者を含めて、一般選抜における校内順位を決定します。その後、全校の校内順位データをコンピュータ処理して作成された合格候補者名簿に基づいて、一般選抜における合格者を各高等学校が決定します。

コンピュータ処理は、次の方法により行います。

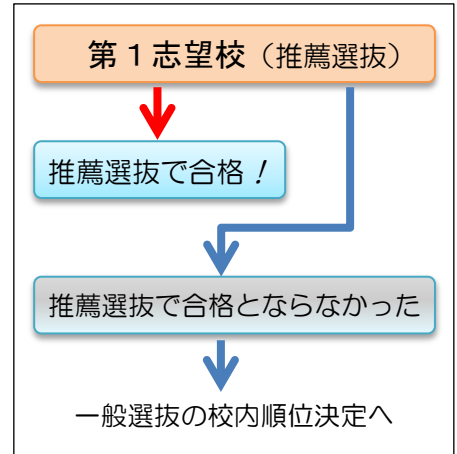
第1志望校の校内順位が合格圏内（募集人員から推薦選抜等における合格者数を差し引いた、一般選抜において合格者を決定する人数内）にあるときは、第1志望校の合格候補者としてします。また、その受検者が第2志望校では合格候補者とならないようにチェックします。

すなわち、2校受検者が第1志望校、第2志望校ともに合格圏内にあるときは、第1志望校の合格候補者とし、第2志望校の合格候補者とはしません。

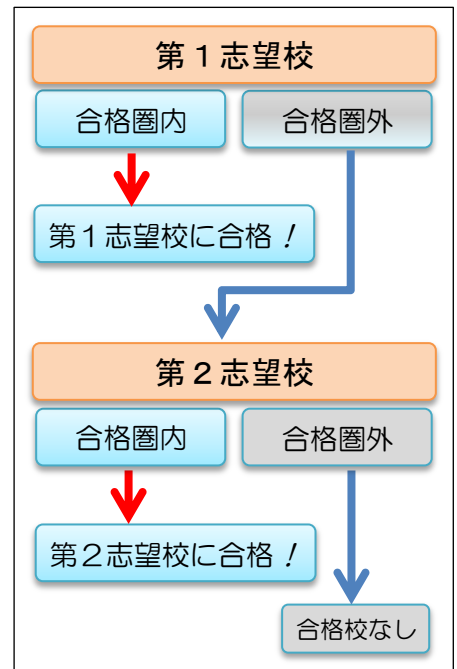
その結果、第2志望校では、合格圏内の人数に余裕が生じることになるため、この余裕が生じた人数分だけ、受検者の中から校内順位に従って繰り上げ、その高等学校の合格候補者としてします。

このようなコンピュータ処理を経て、合格候補者名簿を作成します。

推薦選抜の流れ



一般選抜の流れ



## V 合格者発表

A・Bグループとも同じ日に、推薦選抜、一般選抜をあわせて合格者を発表します。

受検した高等学校において、「本校に合格」、「相手校に合格」の別が分かるように掲示するとともに、中学校長を通じて受検者本人に通知します。



**質問** 推薦選抜を受検した場合、推薦・一般のどちらで合格したのかを知ることができますか？  
**答え** 中学校長と本人には、どちらの選抜で合格したのかが分かるように通知します。

## VI 特別選抜

海外帰国生徒にかかる入学者選抜（海外帰国生徒選抜）、外国人生徒及び中国帰国生徒等にかかる入学者選抜（外国人生徒等選抜）、連携型中高一貫教育校にかかる入学者選抜（連携型選抜）を、特別選抜として実施します。

海外帰国生徒選抜と外国人生徒等選抜は、一般選抜の日程の中で実施し、合格者発表も一般選抜と同時にを行います。出願資格については、これまでと同じです。

### 海外帰国生徒選抜

志願先の高等学校・学科を第1志望として一般選抜にも出願し、一般選抜の学力検査(5教科)を受検します。

合格者の決定は、一般選抜における校内順位の決定に先立って、提出書類の内容、一般選抜の学力検査のうち国語、数学、外国語(英語)の成績、面接等の結果を資料として行います。

なお、海外帰国生徒選抜において合格とならなかった受検者は、一般選抜の対象とします。また、一般選抜において第2志望校へ出願することができます。

### 外国人生徒等選抜

志願先の高等学校・学科を第1志望として一般選抜にも出願します。ただし、一般選抜の学力検査とは別に、国語、数学、外国語(英語)を一つにまとめた基礎的な内容で、問題の漢字にルビを振った外国人生徒等選抜のための学力検査(45分)を、一般選抜の面接実施日に行います。

合格者の決定は、一般選抜における校内順位の決定に先立って、提出書類の内容、外国人生徒等選抜の学力検査の成績、面接(個人面接)等の結果を資料として行います。

なお、外国人生徒等選抜において合格とならなかった受検者は、一般選抜の対象とします。また、一般選抜において第2志望校へ出願することができます。

### 連携型選抜

一般選抜に先立って、別日程で実施します。面接と「中高連携のもとに行われる学習のまとめ」の発表を行います。

特別選抜の実施校

選抜の種類	実施校
海外帰国生徒選抜	県立中村高等学校(普通科)、県立豊田西高等学校(普通科)、 県立刈谷北高等学校(普通科)、県立豊橋東高等学校(普通科)、 名古屋市立名東高等学校(国際英語科)、県立千種高等学校(国際教養科)
外国人生徒等選抜	県立名古屋南高等学校(普通科)、県立小牧高等学校(普通科)、 県立東浦高等学校(普通科)、県立衣台高等学校(普通科)、 県立安城南高等学校(普通科)、県立豊橋西高等学校(普通科)、 県立豊田工業高等学校(工業科)、県立豊川工業高等学校(工業科)、 県立中川商業高等学校(商業科)
連携型選抜	県立新城東高等学校作手校舎(人と自然科)、 県立田口高等学校(普通科、林業科)

## VII 第2次選抜

合格者が募集人員に満たない高等学校・学科において、第2次選抜を実施します。

第2次選抜に出願することができるのは、愛知県内の国公私立のいずれかの高等学校を受検し、いずれの高等学校にも合格しなかった人です。

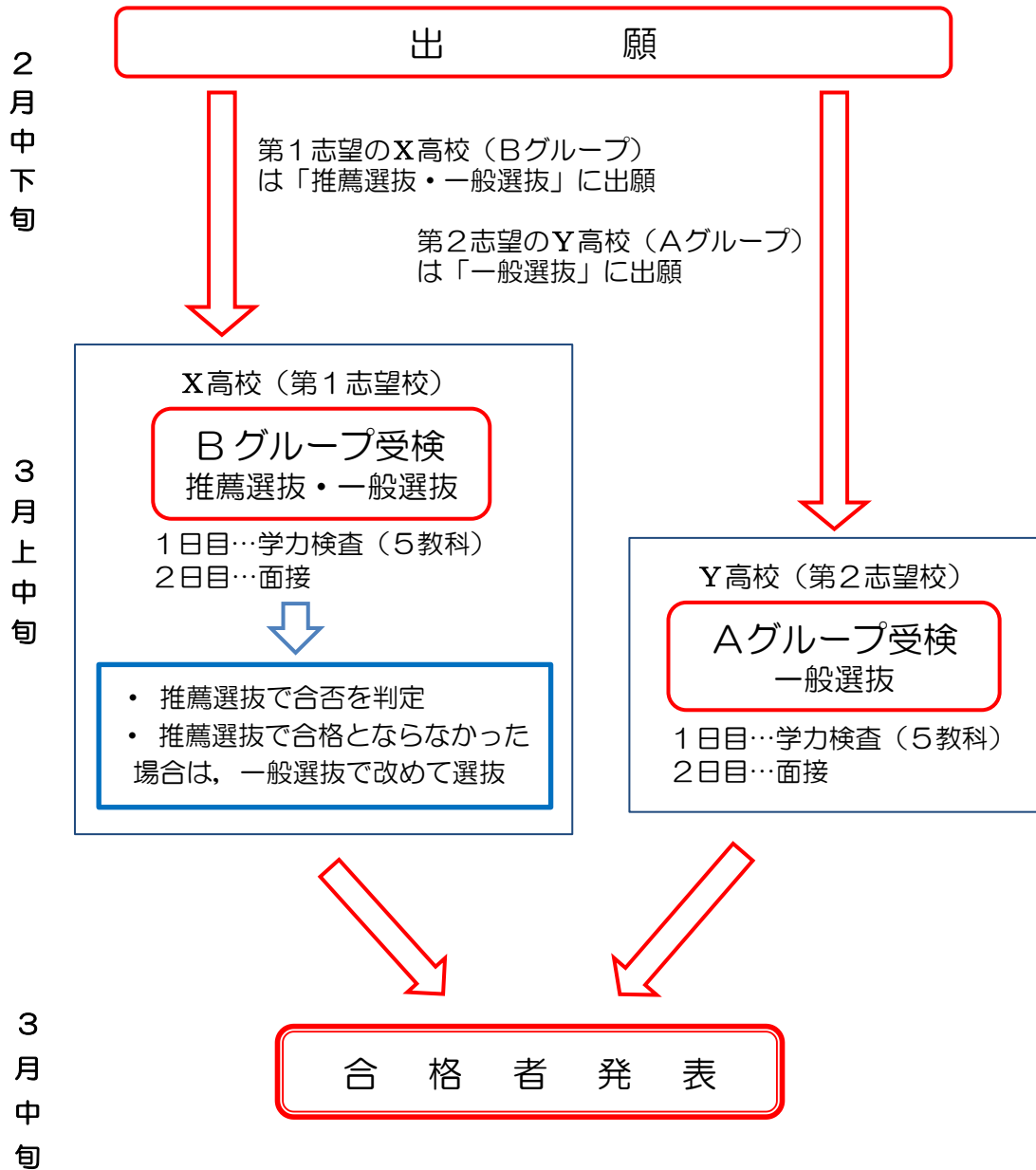
学区内の高等学校のうち、群・グループにかかわらず、1校1学科に限り出願できます。また、志願変更は、1回に限り行うことができます。(普通科間の志願変更は、同一学区内に限ります。)

入学検査として、作文、学力検査Ⅰ、学力検査Ⅱ、面接を行います。学力検査Ⅰは、国語、数学、外国語(英語)の基礎的な内容とします。ただし、外国語(英語)の聞き取り検査は行いません。また、学力検査Ⅱは、社会と理科の基礎的な内容とします。

なお、デザイン科、クリエイティブデザイン科、スポーツ科学科、音楽科、美術科では、特別検査(実技試験)を行います。

## VIII 出願から合格者発表までの流れ

(例) 第1志望の X高校 (Bグループ) は「推薦選抜・一般選抜」に出願し、  
第2志望の Y高校 (Aグループ) は「一般選抜」に出願する場合



※ 入試の実施日程の順が、Bグループ、Aグループの場合の例です。

【表 1】全日課程普通科の通学区域と群・グループ分け

[市郡名は平成 28 年 5 月 1 日現在]

全日課程普通科通学区域			
尾張学区		三河学区	
地域	名古屋市，一宮市，瀬戸市，半田市，春日井市，津島市， 犬山市，常滑市，江南市，小牧市，稲沢市，東海市，大府市， 知多市，尾張旭市，岩倉市，豊明市，日進市，愛西市， 清須市，北名古屋市，弥富市，あま市，長久手市，愛知郡， 西春日井郡，丹羽郡，海部郡，知多郡		豊橋市，岡崎市，豊川市， 碧南市，刈谷市，豊田市， 安城市，西尾市，蒲郡市， 新城市，知立市，高浜市， 田原市，みよし市，額田郡， 北設楽郡
	高等学校名		高等学校名
群	尾張第 1 群	尾張第 2 群	三河群
	A グループ 旭丘，惟信， <u>松蔭</u> ，昭和， 熱田，豊明，日進西， 犬山南，江南，小牧， <u>一宮北</u> ，一宮南， <u>尾西</u> ， <u>津島</u> ， <u>海翔</u> ，半田東， 常滑， <u>内海</u> ， 市立緑，市立名東 (20校)	明和， <u>松蔭</u> ，名古屋南， 瀬戸西，春日井，春日井西， 高蔵寺，長久手，新川， 一宮， <u>一宮北</u> ， <u>尾西</u> ， <u>津島</u> ，津島北，稲沢東， <u>海翔</u> ， 常滑，東海南，大府， <u>内海</u> ， 市立向陽，市立山田 (22校)	衣台，豊田北，豊田南， 加茂丘，足助，岡崎，岡崎西， 岩津，刈谷，安城，西尾東， 一色，知立，高浜，豊丘， 豊橋南，福江，国府，御津， 新城東（本校），田口 (21校)
B グループ 名古屋西，中村，鳴海， 天白， <u>春日井東</u> ，日進， 東郷，犬山，尾北，小牧南， 丹羽，一宮西， <u>木曾川</u> ， 美和，半田， <u>大府東</u> ， <u>阿久比</u> ，東浦， <u>武豊</u> ， 市立菊里，市立富田 (21校)	千種，守山，瑞陵，瀬戸， <u>春日井東</u> ，春日井南，旭野， 犬山，小牧南，西春， 一宮興道， <u>木曾川</u> ，津島東， 美和，五条，横須賀， <u>大府東</u> ， <u>阿久比</u> ，東浦， <u>武豊</u> ， 市立桜台，市立北 (22校)	豊田西，豊田，豊野，松平， 三好，岡崎北，幸田，碧南， 刈谷北，安城東，安城南， 西尾，吉良，知立東，時習館， 豊橋東，豊橋西，成章， 小坂井，蒲郡東 (20校)	

※ 下線の付いた高等学校は，1・2群共通校です。

【表 2】調整区域

居住地	学区外で通学可能な高等学校
大府市，豊明市	刈谷，刈谷北，知立，知立東
知多郡東浦町	刈谷，刈谷北，知立，知立東，高浜
日進市，愛知郡東郷町	豊田西，衣台，豊田，三好
刈谷市，知立市	豊明，大府，大府東，東浦
高浜市	東浦
豊田市，みよし市	日進，日進西，東郷
知多郡南知多町篠島・日間賀島	三河学区に属する高等学校
西尾市一色町佐久島	尾張学区に属する高等学校

※ 居住地欄の地域に居住する人は，それぞれ学区内の高等学校に加え，学区外で通学可能な高等学校欄に掲載した高等学校に通学することができます。

【表3】全日制課程専門学科・総合学科の通学区域とグループ分け

		全日制課程専門学科・総合学科の通学区域	
地域		県内全域	
	学科	高等学校名	
A グループ	農業	稲沢, 半田農業, 安城農林, 新城東・作手校舎, 田口 (4校1校舎)	
	工業	名南工業, 春日井工業, 一宮工業, 起工業, 常滑, 豊田工業, 碧南工業, 豊橋工業, 市立工芸 (9校)	
	商業	愛知商業, 緑丘商業, 一宮商業, 津島北, 半田商業, 岡崎商業, 知立, 豊橋商業, 国府, 市立若宮商業 (10校)	
	家庭	一宮, 大府, 岩津, 安城, 一色, 豊丘, 豊橋南 (7校)	
	福祉	海翔, 高浜, 宝陵 (3校)	
	その他の専門学科	旭丘(美術), 明和(音楽), 御津(国際教養), 宝陵(衛生看護), 市立向陽(国際科学), 市立名東(国際英語) (6校)	
	総合	瀬戸北総合, 豊田東, 蒲郡, 市立西陵 (4校)	
B グループ	農業	佐屋, 猿投農林, 渥美農業, 新城 (4校)	
	工業	愛知総合工科, 瀬戸窯業, 小牧工業, 佐織工業, 半田工業, 岡崎工業, 刈谷工業, 豊川工業, 市立工業 (9校)	
	商業	中川商業, 瀬戸窯業, 春日井商業, 犬山, 古知野, 木曽川, 東海商業, 碧南, 成章, 新城, 市立名古屋商業 (11校)	
	家庭	瑞陵, 古知野, 佐屋, 桃陵, 松平, 吉良, 成章, 新城, 市立桜台 (9校)	
	福祉	古知野 (1校)	
	その他の専門学科	千種(国際教養), 尾北(国際教養), 桃陵(衛生看護), 三好(スポーツ科学), 三谷水産(水産), 市立菊里(音楽) (6校)	
	総合	南陽, 岩倉総合, 杏和, 知多翔洋, 岡崎東, 鶴城丘 (6校)	

(注) 【表1】と【表3】の高等学校名等は、平成28年度募集公告に基づいています。

## 〈新しい入試制度に関するQ&A〉

Q1 推薦選抜への出願は、どのように行うのですか。また、第2志望校にも推薦選抜の出願ができますか。

A 推薦選抜への出願は、一般選抜の第1志望校用の入学願書を用います。その際、入学願書に加えて、中学校長の推薦書を提出します。なお、推薦選抜に出願できるのは、第1志望校だけです。

Q2 志願変更期間に、推薦選抜への出願を追加することや、反対に、推薦選抜への出願を取り下げて一般選抜のみの出願に変更することはできますか。

A 志願変更期間に、推薦選抜への出願を追加することや、推薦選抜への出願から一般選抜のみの出願に変更することはできません。

Q3 推薦選抜で合格とならなかった場合、一般選抜で改めて選抜されるときに不利になりませんか。

A 不利にはなりません。一般選抜のみに出願した人とともに公平に選抜され、校内順位が決定されます。

Q 4 同じ高等学校の普通科と専門学科を、それぞれ第1志望、第2志望として出願することはできませんか。

A 複数の学科が併置されている高等学校は、いずれの学科も同じ日に入学検査を行います。そのため、同じ高等学校の普通科と専門学科へ出願することはできません。

Q 5 一般選抜における校内順位の決定方法に変更はありますか。

A 評定得点(5点×9教科×2)と学力検査合計得点(22点×5教科)を基礎資料とし、その他の資料を含めて総合的に校内順位を決定する方法は、これまでと同じです。ただし、評定得点の最高はこれまでどおり90点ですが、学力検査合計得点の最高は100点から110点に変更となります。

Q 6 校内順位を決めるとき、第1志望者が、第2志望者よりも有利になりますか。

A 校内順位は、Q5で述べたとおり、総合的に判断して決定します。その際、第1志望の人も第2志望の人も同じ条件で行いますので、志望順位による有利、不利はありません。

Q 7 欠席日数が多いのですが、何か特別な書類は出せますか。

A 中学校の第2学年、第3学年のいずれかの学年又は両方のそれぞれの学年における欠席日数が年間30日程度以上の入学志願者のうち希望する人は、「自己申告書A」を提出することができます。また、中学校卒業見込者で、やむを得ない事情により、第3学年における欠席日数が出席すべき日数の半分以上である人は、長期欠席者等にかかる選抜方法の適用を申請することができます。この選抜方法の適用者には、個人面接の実施などの配慮がなされます。申請にあたっては、中学校の先生とよく相談してください。

Q 8 障害等のある入学志願者に対する配慮はありますか。

A 障害等のある入学志願者に対しては、中学校長から志願先の高等学校長に提出された「受検上の配慮に関する申請書」に基づき、必要な調整を行った上で、学力検査や面接などにおいて、座席の移動などの配慮がなされます。また、「受検上の配慮に関する申請書」を提出する入学志願者のうち希望する人は、「自己申告書B」を提出することができます。

Q 9 公立高校入試に関するホームページはありますか。

A 公立高校入試に関する情報は、愛知県教育委員会高等学校教育課のホームページ  
<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/kotogakko/>  
のメニューにある「高等学校への入学」に掲載しています。

このパンフレットは、平成29年度からの愛知県公立高等学校の新しい入学者選抜制度について、中学生とその保護者の皆さんに理解していただくために作成したものです。

＜問い合わせ先＞

愛知県教育委員会 高等学校教育課 進路指導グループ

電話 052-954-6786 (ダイヤルイン)